

14時30分解禁

平成24年9月 全国百貨店売上高概況

平成24年10月22日

I. 概況

1. 売上高総額	4,338億円余
2. 前年同月比	-0.2% (店舗数調整後/5か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年8月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,280,531㎡ (前年同月比:-1.8%)
5. 総従業員数	83,143人 (前年同月比:-5.9%)
6. 3か月移動平均値	2-4月 5.1%、3-5月 4.7%、4-6月 -0.3%、 5-7月 -1.9%、6-8月 -2.0%、7-9月 -1.7%

[参考] 平成23年9月の売上高増減率は-2.4% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

5か月連続の前年同月比マイナスだが、減少率は僅か(-0.2%)でほぼ前年並みに推移した。

9月は月初から中旬まで続いた記録的な残暑の影響で、本格展開がスタートした主力の秋物衣料(-2.2%)が月の前半低調に推移したほか、2度にわたる台風や大雨など天候不順の影響から入店客数も伸び悩んだ。一方、UV対策や改装・新ブランド効果が背景にある化粧品が活況(+4.8%)に推移したほか、好調さに一服感が見えていた高級時計や宝飾品等の高額商材(美・宝・貴:+7.1%)も再び増勢を取り戻したが、前半秋物衣料の不振を全てカバーするまでには至らず、最終的には前年実績を若干割り込む結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、基幹店改装の進捗度合いが地区別の商況に反映しており、改装が完了した東京(+0.7%)、名古屋(+5.1%)、神戸(+2.7%)が前年実績をクリアした一方、改装工事による売場縮小の影響から横浜(-0.6%)、大阪(-1.4%)は前年実績に届かなかった。また、訪日外国人は尖閣問題の影響が一部に出ているものの、当月は売上・客数共にプラス(売上高:+0.6%、購買客数:+9.1%)を維持していること、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「9月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
◇ 上・中旬は太平洋高気圧の勢力が非常に強く、北・東日本を中心に記録的な高温となった。また秋雨前線の活動は限定的で晴れた日が多かった。月の中旬と終わりに台風16号と17号の影響で大雨・暴風被害が発生した。
- (2) 営業日数増減 29.8日(前年同月比-0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日(〃 +1日/日曜・1日増)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数128店舗)
①増加した:39店、②変化なし:29店、③減少した:60店
- (5) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上(同上/有効回答数101店舗)
①増加した:12店、②変化なし:58店、③減少した:31店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数170店舗)
①増加する:21店、②変化なし:81店、③減少する:24店、④不明:44店

全国百貨店 売上高速報 2012年09月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	433,870,648	100.0	-0.2 (-0.7)
10都市	286,973,779	66.1	0.3 (0.1)
札幌	11,239,355	2.6	-3.2
仙台	6,128,294	1.4	-1.4
東京	108,182,205	24.9	0.7 (0.7)
横浜	24,887,783	5.7	-0.6
名古屋	26,970,221	6.2	5.1
京都	17,306,801	4.0	1.7
大阪	56,774,764	13.1	-1.4
神戸	11,541,449	2.7	2.7 (-2.2)
広島	9,952,611	2.3	-4.1
福岡	13,990,296	3.2	1.1
10都市以外の地区	146,896,869	33.9	-1.3 (-2.3)
北海道	2,549,608	0.6	-1.6
東北	7,572,246	1.7	2.6
関東	70,938,614	16.4	-1.6 (-3.5)
中部	10,939,723	2.5	-4.0
近畿	14,405,242	3.3	-0.3
中国	10,382,381	2.4	0.1
四国	7,999,543	1.8	3.0
九州	22,109,512	5.1	-3.3

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	433,870,648	100.0	-0.2 (-0.7)
紳士服・洋品	25,415,294	5.9	-0.3 (1.1)
婦人服・洋品	100,976,411	23.3	-2.6 (-3.1)
子供服・洋品	9,773,443	2.3	-3.7 (-5.4)
その他衣料品	10,973,881	2.5	-1.5 (-1.9)
衣 料 品	147,139,029	33.9	-2.2 (-2.5)
身のまわり品	56,992,277	13.1	0.9 (0.2)
化粧品	27,228,642	6.3	4.8 (4.3)
美術・宝飾・貴金属	23,736,182	5.5	7.1 (6.8)
その他雑貨	17,574,255	4.1	-2.0 (-2.1)
雑 貨	68,539,079	15.8	3.7 (3.4)
家 具	6,106,098	1.4	2.0 (1.6)
家 電	1,198,558	0.3	-2.6 (-2.6)
その他家庭用品	14,906,722	3.4	-3.1 (-3.9)
家 庭 用 品	22,211,378	5.1	-1.7 (-2.4)
生 鮮 食 品	24,662,172	5.7	-1.9 (-2.6)
菓 子	27,849,665	6.4	0.1 (-0.6)
惣 菜	26,341,670	6.1	-0.6 (-1.3)
その他食料品	31,847,497	7.3	0.6 (-0.1)
食 料 品	110,701,004	25.5	-0.4 (-1.0)
食 堂 喫 茶	14,090,520	3.2	1.9 (1.5)
サ ー ビ ス	5,544,663	1.3	8.6 (8.0)
そ の 他	8,652,698	2.0	-6.1 (-6.8)
商 品 券	10,912,369	2.5	-5.7 (-6.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 0.3% (店舗数調整後／5か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.3% (〃 ／6か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.3	0.2	5か月ぶりプラス
札幌	-3.2	-0.1	6か月連続マイナス
仙台	-1.4	0.0	5か月連続マイナス
東京	0.7	0.2	2か月連続プラス
横浜	-0.6	0.0	5か月連続マイナス
名古屋	5.1	0.3	2か月連続プラス
京都	1.7	0.1	3か月ぶりプラス
大阪	-1.4	-0.2	6か月連続マイナス
神戸	2.7	0.1	2か月連続プラス
広島	-4.1	-0.1	6か月連続マイナス
福岡	1.1	0.0	3か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-1.3	-0.5	6か月連続マイナス
北海道	-1.6	0.0	6か月連続マイナス*
東北	2.6	0.0	5か月ぶりプラス*
関東	-1.6	-0.3	6か月連続マイナス
中部	-4.0	-0.1	6か月連続マイナス
近畿	-0.3	0.0	6か月連続マイナス
中国	0.1	0.0	6か月ぶりプラス*
四国	3.0	0.1	3か月ぶりプラス
九州	-3.3	-0.2	3か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が5か月ぶり、雑貨が3か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、家庭用品、食料品。美術・宝飾・貴金属、家具が3か月ぶり、その他食料品が4か月ぶりのプラス、化粧品、菓子が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.2	—	5か月連続マイナス
紳士服・洋品	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-2.6	-0.6	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-3.7	-0.1	6か月連続マイナス
その他衣料品	-1.5	0.0	6か月連続マイナス
衣料品	-2.2	-0.8	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	0.9	0.1	5か月ぶりプラス
化粧品	4.8	0.3	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	7.1	0.4	3か月ぶりプラス*
その他雑貨	-2.0	-0.1	6か月連続マイナス*
雑貨	3.7	0.6	3か月ぶりプラス
家具	2.0	0.0	3か月ぶりプラス
家電	-2.6	0.0	8か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-3.1	-0.1	6か月連続マイナス
家庭用品	-1.7	-0.1	5か月連続マイナス
生鮮食品	-1.9	-0.1	6か月連続マイナス*
菓子	0.1	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	-0.6	0.0	4か月ぶりマイナス*
その他食料品	0.6	0.0	4か月ぶりプラス*
食料品	-0.4	-0.1	6か月連続マイナス
食堂喫茶	1.9	0.1	2か月連続プラス
サービス	8.6	0.1	4か月連続プラス
その他	-6.1	-0.1	5か月連続マイナス
商品券	-5.7	-0.2	1.9か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成24年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年10月22日

I. 概況

1. 売上高総額	1,081億円余
2. 前年同月比	0.7% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭0.4%(88.7%) : 非店頭3.4%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	909,266㎡ (前年同月比: 0.6%)
6. 総従業員数	18,742人 (前年同月比: -0.8%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 10.2%、3-5月 11.3%、4-6月 2.8%、 5-7月 0.2%、6-8月 -0.4%、7-9月 -0.2%

【参考】平成23年9月の売上高増減率は-3.6% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

- (1) 東京地区でも、月前半の天候不順が大きく影響したが、複数の店舗で完了した増床や大型改装の効果が押上げ要因となって、前年実績を上回った。
- (2) 高額品の内、特に高級時計については、ワールドウォッチフェア等関連催事が展開されるなどから好調に推移した。こだわり消費の広がりを背景に、数十万円～百万円以下の価格帯で需要が伸びている。
- (3) 身のまわり品に分類される、海外ラグジュアリーブランドの服飾雑貨(靴、ハンドバッグ、婦人アクセサリー等)も好調であった。改装や新ブランドの導入効果が見て取れる。
- (4) 全国の水準以上に好調な化粧品(+5.9%)についても、改装・新ブランド導入効果が寄与し、都内のほぼ全店で前年実績を上回っている。
- (5) 東京地区の10月中間段階までの商況は、前年を上回るペースで推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 6店、③減少した: 11店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上 (同上/有効回答数14店舗)
 - ①増加した: 1店、②変化なし: 7店、③減少した: 6店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
 - ①増加する: 3店、②変化なし: 11店、③減少する: 4店、④不明: 2店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年09月

※店舗数調整後（ ）が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	108,182,205	100.0	0.7 (0.7)
紳士服・洋品	7,972,702	7.4	1.7 (7.3)
婦人服・洋品	22,575,889	20.9	-2.9 (-3.4)
子供服・洋品	1,938,083	1.8	0.1
その他衣料品	2,040,738	1.9	5.6
衣 料 品	34,527,412	31.9	-1.3 (-0.4)
身のまわり品	15,107,347	14.0	2.0 (0.9)
化粧品	6,677,987	6.2	5.9 (6.1)
美術・宝飾・貴金属	6,739,732	6.2	3.6 (3.8)
その他雑貨	5,513,422	5.1	-5.8 (-5.7)
雑 貨	18,931,141	17.5	1.4 (1.6)
家 具	2,106,913	1.9	18.4
家 電	589,272	0.5	-3.1
その他家庭用品	3,807,781	3.5	-5.8 (-6.9)
家 庭 用 品	6,503,966	6.0	1.2 (0.4)
生 鮮 食 品	4,417,023	4.1	3.3
菓 子	6,847,164	6.3	5.0
惣 菜	6,130,678	5.7	6.0
その他食料品	7,695,981	7.1	-3.9 (-4.7)
食 料 品	25,090,846	23.2	2.0 (1.8)
食 堂 喫 茶	3,076,910	2.8	-0.3 (-1.2)
サ ー ビ ス	2,434,554	2.3	21.0 (21.9)
そ の 他	2,510,029	2.3	-12.9 (-14.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	2,558,331 千円	-17.9 (-18.1)
従 業 員 数	18,742 人	-0.8
店 舗 面 積	909,266 m ²	0.6

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨・家庭用品が3か月ぶり、食料品が2か月連続、身のまわり品が7か月連続のプラス。マイナスは衣料品。美術・宝飾・貴金属が2か月ぶり、家具が3か月ぶりのプラス、紳士服・洋品、子供服・洋品、化粧品、生鮮食品が2か月連続、その他衣料品が3か月連続、菓子が8か月連続、惣菜が14か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.7	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	1.7	0.1	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-2.9	-0.6	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	0.1	0.0	2か月連続プラス
その他衣料品	5.6	0.1	3か月連続プラス
衣料品	-1.3	-0.4	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	2.0	0.3	7か月連続プラス
化粧品	5.9	0.3	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.6	0.2	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-5.8	-0.3	5か月連続マイナス*
雑貨	1.4	0.3	3か月ぶりプラス
家具	18.4	0.3	3か月ぶりプラス
家電	-3.1	0.0	8か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-5.8	-0.2	5か月連続マイナス
家庭用品	1.2	0.1	3か月ぶりプラス
生鮮食品	3.3	0.1	2か月連続プラス*
菓子	5.0	0.3	8か月連続プラス*
惣菜	6.0	0.3	14か月連続プラス*
その他食料品	-3.9	-0.3	4か月連続マイナス*
食料品	2.0	0.5	2か月連続プラス
食堂喫茶	-0.3	0.0	4か月連続マイナス
サービス	21.0	0.4	4か月連続プラス
その他	-12.9	-0.3	5か月連続マイナス
商品券	-17.9	-0.5	17か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>